

アンケート結果について(Q3 各医療機能別の病床数)

アンケートでは、病床ごとの機能区分を調査

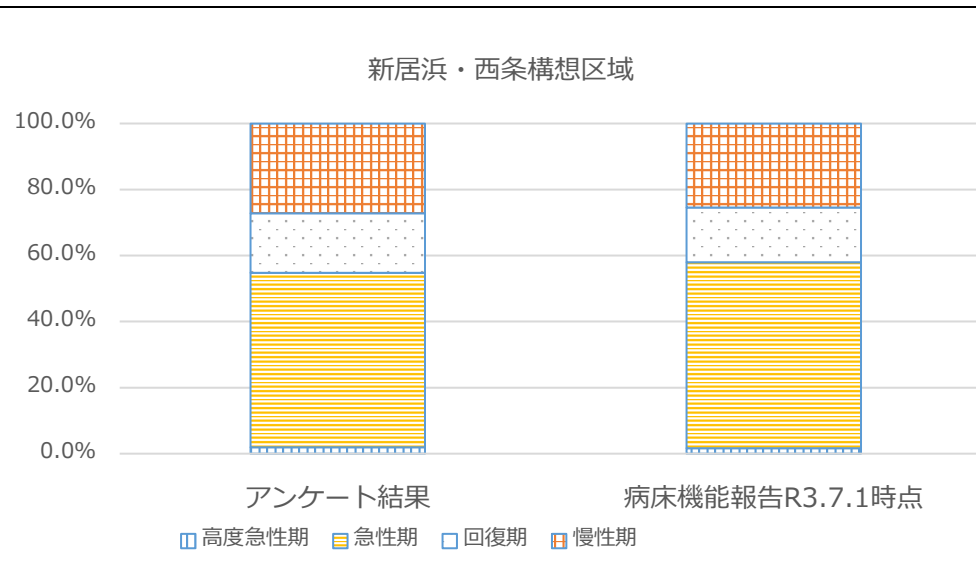
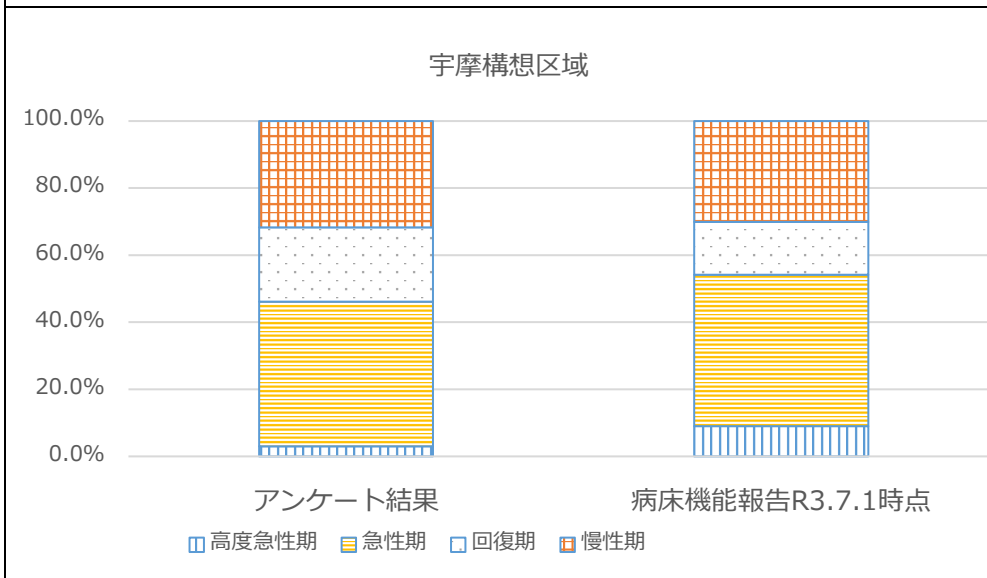
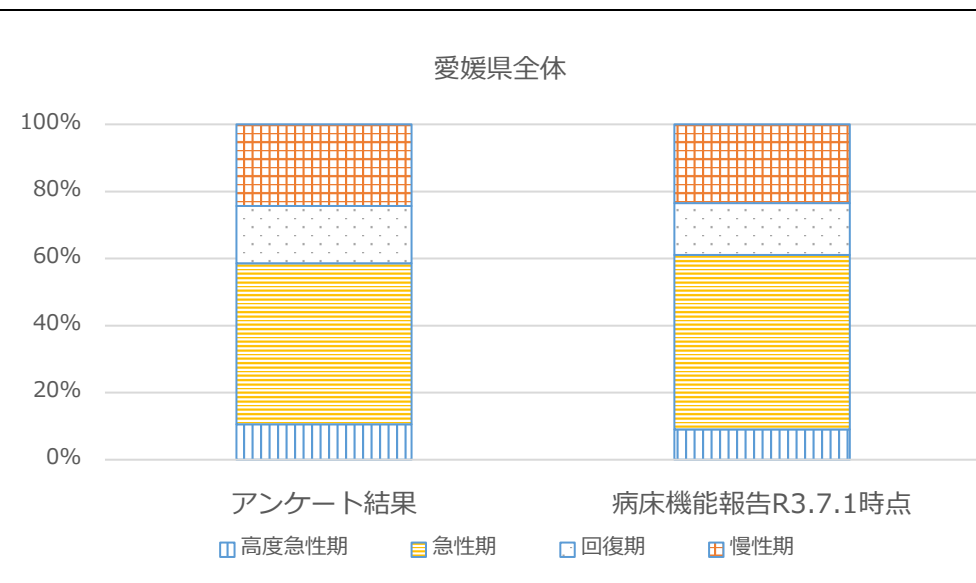
病棟ごとの報告である病床機能報告と比較すると、

- ・全体として、急性期が微減、回復期が微増しており、病床機能報告上の急性期病床の一部が回復期として運用されている状況が把握できた。
- ・宇摩構想区域及び八幡浜・大洲構想区域の高度急性期病床について、実態が把握できた。

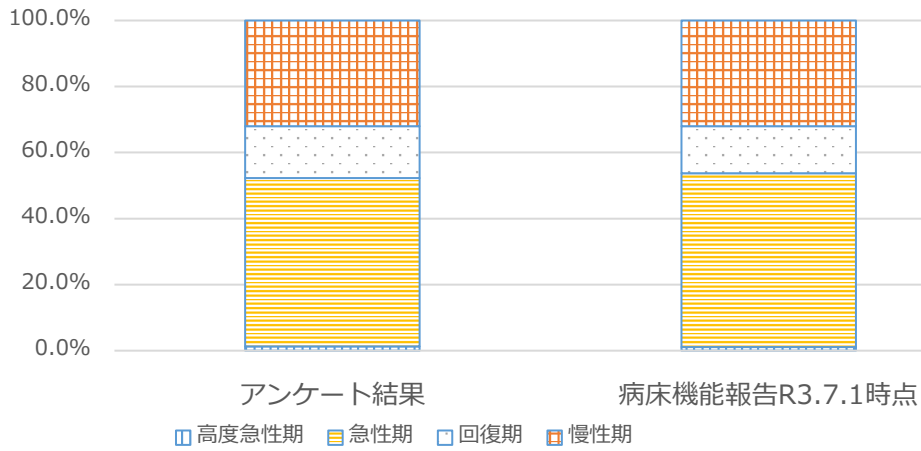
一方で、

- ・病床機能報告と大幅な相違は見られなかった。
- ・病床機能報告の回答入力と時期が近く、医療機関に2重の負担となった。

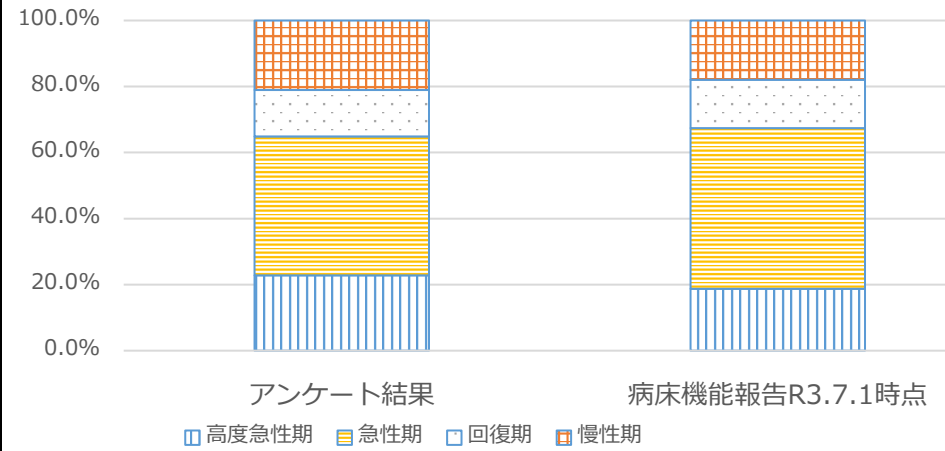
今後は、病床機能報告をベースとし、ポイントを絞って県独自調査を組み合わせる方向で検討



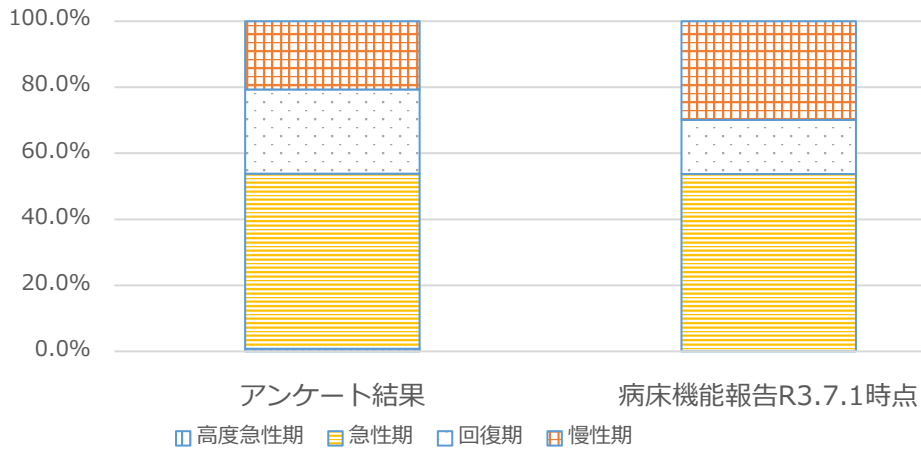
今治構想区域



松山構想区域



八幡浜・大洲構想区域



宇和島構想区域

